

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	消火活動中の可搬ポンプ破損により、放水活動ができなくなった事案
3. 体験した事例の中心的要素	先ポンプ(小型動力ポンプ)、元ポンプ(消防ポンプ自動車)で消火活動中、放水を停止することを元ポンプへ連絡する前に、筒先放水員が管そうを閉じたため、先ポンプの連成計が破損したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮命令系統が確実でなかった。 ・分隊長間又は機関員間にて、放水停止報告の未実施(無線連絡又は団員による伝令)

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。(誤った手順を取った等)
------------------	---------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成28年1月24日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外：一般建物火災(物品販売店(バイク等))
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他：小型動力ポンプの故障により、再び送水(放水)のできない状況
7. 事例体験時の活動	火災現場活動中期、[その他建物]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	放水活動
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[69]歳、勤続年数[37]年、現場経験年数[37]年、階級[分団長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:分団の長]
○当事者B	年齢[72]歳、勤続年数[40]年、現場経験年数[40]年、階級[元分団長(退団)] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:分団の長]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	出火建物正面に部署し、ホースを3本延長 出火建物東側から消火活動をおこなった。	
経過2	当事者B	消火栓部署後、当事者Aの分団に中継した。中継圧力5~8 kg/m ²	
経過3	当事者A	筒先団員が、放水停止の指示もなく、報告もせずに、放水を 停止した。	
経過4	当事者B	そのまま、中継を継続した。	
経過5	当事者A	放水停止した反動と中継送水により、小型可搬ポンプに圧力 が集中した。	
経過6	当事者A	小型可搬ポンプの連成計が破損した。	
経過7	当事者A	再び放水することが可能であったか。	
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
- ヒヤリハットの場合: ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

たまたま、事故にならなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--